

(食料品)

●食料品

中国醤油醸造協同組合

当月の出荷量は前月比▲28.8%、前年同月比▲9.4%。売上高は前月比▲28.4%、前年同月比+2.4%となった。

(繊維工業)

●繊維工業

一般財団法人広島県織物工業会

先月と比較し、やや回復基調にある。

山陽テクノ協同組合

難しい内容の小ロットの仕事が多い印象。

(木材・木製品)

●木材・木製品

広島県木材協同組合連合会

【全国】

- ・令和6年7月の新設住宅着工戸数は68,014戸で前年同月比▲0.2%、季節調整済年率換算値では773千戸(前月比+1.0%)となった
- ・利用関係別では、持家は19,858戸で前年同月比▲4.0%、貸家は31,546戸で+4.6%、分譲住宅は16,164戸で▲4.8%、また、木造住宅は40,420戸で前年同月比+0.7%であった
- ・住宅着工動向の前年同月比は、持家の減少が32ヵ月連続となり、貸家が3ヵ月ぶりの増加、分譲住宅が3ヵ月連続の減少となった。木造住宅についても2ヵ月ぶりに増加となっている

【広島県】

- ・7月の着工戸数は1,427戸で対前年同月比+15.2%、うち持家は357戸で▲17.6%、貸家は696戸で+31.3%、分譲は371戸で+41.1%となった
- ・県全体の住宅着工戸数の前年同月比は増加し、延床面積も前年同月比+12.7%となっているものの、木材利用が多い持家の減少により木材需要の見通しは厳しい状況にある
- ・木材需要の先行き不透明な状況が長引き、需要好転の兆しが見えない状況にあり、8月のプレカット受注は再び8割台前半で伸び悩んでいる

(化学・ゴム)

●工業用ゴム製品

中国ゴム工業協同組合

先月と比べて大きな変化はない。秋口にかけて仕事量が増大している状況において、法令遵守が大切である。

●プラスチック製品製造業

広島県プラスチック工業会

当月は夏季連休や台風の影響で稼働日数が減少したため、操業度は低調であった。一般消費材の需要も動きが重く受注が低迷している。

(窯業・土石製品)

●窯業・土石製品

広島地区生コンクリート協同組合

・出荷状況

令和6年08月 1,860 m³ (前年比72,2%)

令和6年07月 2,336 m³

令和5年07月 2,669 m³

・令和6年度想定数量

760,000 m³

(鉄鋼・金属製品)

●鉄鋼

鋼鉄協同組合連合会

- ・6～8月の猛暑による生産性の低下が各社の懸念事項だが、有効的な対策はない
- ・景気の状態は、著しい変化が見られず、仕入価格の高騰分を販売価格へ転嫁することに時間が掛かっているが、徐々に値上げ傾向にある
- ・もう一つの懸念事項は人手不足だが、外国人技能実習生の活用にて、何とか凌いでいるのが現状

●一般機械

(一般機械器具)

広島県東部機械金属工業協同組合

売上は、前月比▲4.4%、前年同月比+31.7%となった。また、日工会の発表では工作機械受注総額(7月分)は、2ヶ月ぶりの1,300億円割れも、5ヶ月連続の1,200億円超えに加えて3ヶ月連続で前年同月比増加であった。外需を中心に回復傾向が見られる。

(電気機械器具)

広島県東部機械金属工業協同組合(電気機械器具)

売上は前月比▲2.0%、前年同月比▲2.0%となった。中国や東南アジアの電気関係の景況が悪化している事が要因。

(輸送用機器)

●輸送用機械器具(自動車)

東友会協同組合

マツダの生産は欧州とアジア地区向けが低調であるが、米国市場は好調である。新型車の大型SUV(CX-60/70/80/90)は今期全てが出揃い、期待は大きい。

(8月度自動車国内販売動向)

全需は328千台、前年同月比▲3.5%と8ヶ月連続で減少となった(登録車は▲2.4%、軽自動車は▲5.3%)、マツダ車は▲18.5%と9ヶ月連続で前年を下回った。マツダ車の内訳は登録車▲21.5%(7.3千台)、軽自動車▲9.0%(2.7千台)。

(7月度自動車海外販売動向)

アメリカの全需は1,291千台で、前年同月比▲2.3%と2ヶ月連続で減少となった。マツダは+30.1%と、前年同月比で大幅に増加した。

欧州の全需は1,114千台で、前年同月比▲3.7%と3ヶ月連続で減少。マツダは▲10.5%と前年同月比で減少に転じた。

中国の全需は2,481千台で、前年同月比+3.9%と4ヶ月連続で増加。マツダは▲38.3%と3ヶ月連続での減少となった。

マツダの7月の海外販売は、欧州、アジア地区が減少になったが、北米向けが堅調に増えたことで、全体としてはプラスとなった。合計台数は91.5千台、前年同月比+9.0%と増加した。

(7月度自動車輸出・生産動向)

マツダの輸出台数は、欧州向けが落ち込んでいるが、北米とその他の地域の増加を含めてカバーしており、輸出全体では前年比+12.7%の増加。生産台数は大型SUV等の堅調な生産により、前年同月比で+7.5%となった。

●印刷

広島県印刷工業組合

洋紙価格の高止まり、刷版材料費、人件費、その他コストの上昇分を全ての顧客に対して取引価格に反映できていない。

●輸送用機械器具(造船)

中国地区造船協議会

県内、2,500総トン以上の令和6年7月の船舶建造許可実績は3隻、155,486総トンであった(前月6隻172,700総トン、前年同月3隻193,700総トン)。なお、内訳は、国内船が1隻で貨物船、輸出船が2隻で貨物船であった。

(一社)中国小型船舶工業会

中小造船業については、前月と大きな変化は無い。

(卸売業)

●卸売業(総合)

協同組合広島総合卸センター

- ・8月は稼働日数も少なく、猛暑の影響や販売数量の低下により売上は減少傾向が見られた。食品関係は米の品薄・品切状態により仕入・販売ともに価格が上昇した結果、随時仕入業者は仕入の確保に奔走させら

れる事態となった

- ・日銀の政策金利の利上げが発表され、金融機関の短期プライムレートが9月から引上げとなり、支払利息負担が増加することとなるため、企業収支や資金繰りへの影響が懸念される。特に利幅が少ない卸売業者は借入負担も大きく、今後の金利動向も看過できず、調達面での不安は残る

●卸売業（電設資材）

広島県電設資材卸業協同組合

各メーカーとも7月に続き8月も売上が低迷。猛暑の中ではあるが、業界全体のエアコンの売上は微増。

●卸売業（畳・敷物）

広島県畳製品商業協同組合

当月の実績は、びんご特選では前年比▲77.6%、JAS表が前年比▲68.6%と大幅に減少した。

（小売業）

●各種商品小売業

広島生鮮三品連絡協議会

- ・8月度中央市場水産部の取扱高は、物価高騰による消費低下、猛暑による入荷量の減少、月末の台風による休漁が重なり、前年実績を下回った
- ・8月度中央市場青果部の取扱高は、全国的な天候不順による収量の減少によって高値が続いたため増加となっているが、各業者は販売価格への転嫁に苦慮している状態が続いている
- ・比較的取扱高の多い業者と少ない業者との差が大きくなってきている。市場内において物が高くて買えないとの声を毎日のように聞くようになった。廃業の増加が懸念される

協同組合三次ショッピングセンター

近隣の大手ドラッグストアによる1ヶ月以上のオープニングセールによって、これまで順調だったスーパーマーケットの売上が計画より低い結果となり、施設全体の客数にも影響があった。加えて、業界全体で仕入価格、電気料、金利の上昇により、先行きが不安な状況が続いている。

●家庭用電気機械器具小売

広島県電器商業組合

令和6年8月度販売実績101%（前年同月比）。AV商品103%、白物商品98%、薄型テレビ100%（内有機EL95%）、DVD94%、冷蔵庫99%、洗濯機92%、IHクッキングヒーター104%、エコキュート112%、エアコン107%、炊飯器80%、電子レンジ99%、掃除機105%。

家電商品販売のみでは、経営が厳しい。オール電化・リフォーム等の提案力を強化し、地域に無くてはならないインフラとしての存在価値を示すことが重要。

●商店街

呉本通商店街振興組合

- ・8月3日と10日の午後6時から、恒例の夜市イベント「きららフェスタ2024」を開催した。3日は呉中央地区商店街の呉土曜夜市と共催、10日は当組合単独で実施し、盛況のうちに終了した。主催者によれば2日間で2千人以上の参加者があり、呉中央地区商店街全体のにぎわい創出が図れたと思われる
- ・アーケード支柱の再塗装工事（第4工区）が8月19日から始まった。今年度は本通4丁目付近の25本が対象で、9月初めには終了予定である

（サービス業）

●自動車整備業

広島市自動車整備団地協同組合

- ・車検台数は、前月比▲17.6%、前年比▲6.7%
- ・車検場収入は、前月比▲18.2%、前年比▲9.4%
- ・重量税・登録印紙税の売上は、前月比▲24.2%、前年比▲28.5%

●広告業

広島県広告美術協同組合連合会

若干稼働してきてはいる。10月の駆け込み需要に期待したい。

●警備業

広島県警備業協同組合

人手不足が益々深刻になり、採用がさらに難しくなっている。

（建設業）

●工事業

広島県室内装飾事業協同組合

カーテン、敷物、壁装クロス等の3品目合計について、8月度は前月比+43.1%増、前年同月比+78.9%となった。広島駅再開発及び周辺の物件が活発に動き始めた。今後も堅調に推移して行く事を期待。

福山地区電気工事業協同組合

官庁関係からの大幅な受注増加により、当月分の受付件数は、588件で前年同月比で6割増加となった。

神辺建設業協同組合

物価高騰が続き、業況は停滞している。

(運輸業)

●道路貨物運送業

広島東部トラック運送事業協同組合

- ・当月の売上高は、前月比と前年同月比ともに減少となった。自動車産業関連の案件が低下したことで台風の影響が主な要因である
- ・軽油価格は、政府による補助金の大幅な減額が要因となり値上がりした

松永地区トラック事業協同組合

- ・8月の売上高は、前月比、前年同月比ともに減少となった
- ・荷動きが悪い状態が続いていたが、持ち直しつつある。売上高の減少は、盆休みで稼働日が少ないことや月末の台風10号の影響による
- ・新型コロナウイルス感染症特別貸付により無担保、無利子で受けていた融資の返済により資金繰りが悪化している

中国カーゴ軽自動車運送協同組合

当月は、異常な気温上昇が続き、長期間休みをとる取引先が多いことが売上にも直接響いている。

●水運業

全国内航タンカー海運組合中国支部

- ・船員の高齢化が進み船員不足である
- ・若年船員が育たない
- ・運賃や用船料の改善がみられない

(その他)

●不動産業

広島県不動産評価システム協同組合

- ・前月比では、お盆休暇により仕事量が減ったため売上高が減少し、収益状況、資金繰りはやや悪化している。前年同月は特に変化はない
- ・不動産市場については、マンション販売が一時期に比べ鈍化している。新築マンションは建築資材の高騰や人手不足が要因となりコストが上昇したため、販売価格が高騰している。戸建住宅については供給宅地不足で取引件数が減少傾向にある